

入学者に関する受入方針

本学の創立者、高木兼寛（1849～1920）は英国に留学し、人道主義に基づいた英国医学を学び、病める人を大切にする医師を育成する目的の医学校をつくりたいと考え、（1881）明治14年5月1日、東京慈恵会医科大学の前身である成医会講習所を開設しました。

また、学祖は留学中にセントトーマス病院ナイチンゲール病棟で看護師が医師と連携・協力しながら患者中心の看護を目の当たりにして看護師教育の重要性を実感するとともに「医師と看護婦（師）は車の両輪の如し」という言葉を残しています。この考えを実現するために、4年後、（1885）明治18年にわが国最初の看護婦教育機関である有志共立東京病院看護婦教育所を開設しました。以来131年間、本学は「病気を診ずして病人を診よ」の精神のもと、病に悩む人々の立場に立って考えることのできる医療人を育成してきました。

東京慈恵会医科大学は、人間中心の医学・看護学をめざす方のための大学です。本学では、「入学者に求められるもの」として以下の項目を掲げています。

医学部 医学科

アドミッションポリシー

1. バランスのとれた学力
2. 医学を志す心構え
3. 思いやりとの心と豊かな人間性
4. コミュニケーション能力

医学部 看護学科

アドミッションポリシー

1. 創設者の建学の精神・教育理念に深く共鳴している人
2. 病める人々の苦しみに共感し、人々の健康に関心を持っている人
3. 看護に必要な知識や技術の習得に努力できる人
4. 看護を学ぶうえで必要な基本的知識を修め、判断力を身につけている人
5. 医療チームの中で活動するために人との関わりの素地を持っている人
6. 自分の人生をより良く生きるために、チャレンジ精神を持っている人
7. 他者との良いコミュニケーションができる素地を持っている人

医学研究科 医学系専攻博士課程

アドミッションポリシー

1. 人類の健康と福祉に貢献できる人
2. 研究意欲のある人

医学研究科 看護学専攻修士課程

アドミッションポリシー

1. 看護の実務経験が3年以上ある看護職者であり、かつ専攻分野における基礎知識を有している者
2. 看護実践から生じた問題意識を大学院で学修・研究する明確な意志がある者
3. 入学後も看護実践が継続できる者
4. 将来、看護実践の場あるいは教育や研究の場で貢献する意志がある者